

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2021年12月2日

事業所名：子ども支援センタースマイルきむら

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	スペース的には十分な広さがあり、利用児さんが安心して活動できるスペースを確保しております。また、真ん中のドアを開けると広いスペースになります。活動の内容により区切るなど用途に合わせています。	はい…93% どちらともいえない…5% わからない…2% ・ダンスをしても十分な広さがあったように思う。 ・十分なスペースだと思う。 ・体が大きくなると少し狭いのでは…と感じる。	活動に必要な空間は確保できています。今後も更に過ごしやすい空間づくりを目指します。一日の利用人数は10人定員です。
	2 職員の適切な配置	指定基準に基づいて人員を配置しています。必要に応じて人員を増員することもあります。職員は保育士や言語聴覚士、療育現場で経験のある人材を確保しています。	はい…100% ・適切だと思います。	子ども達の支援に必要な人員配置を今後も引き続き確保していきます。職員は10名の定員に対して必ず5名配置するようにしています。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	事業所内は段差がなく、物を沢山置かず安全面に気を配っています。また、室内は利用児さんが落ち着いて過ごすことができるようにシンプルな環境作りを心がけています。	はい…98% どちらともいえない…2% ・分かりやすい環境になっていると思いますし配慮もされています	今後も子ども達の特性に合わせた環境を整えていきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	通所後に室内等の清掃・消毒を毎回行っています。また、通所前にもドアノブや椅子、テーブルなどの除菌消毒を行っています。以前からも行っていたがコロナ禍で消毒は強化しています。床暖房も完備しており、冬場でも裸足で利用でき安全です。こまめに換気を行い、空気清浄機(加湿器付き)を作動しています。	はい…100% ・過ごしやすい環境に思います。 ・とても綺麗です。子ども自身が掃除をする時間もあるので楽しい様です。	今後も引き続き、清掃や消毒はこまめに行い、利用児さんが安全かつ健康に過ごすことができるように配慮していきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎回、支援の前後にミーティングを行い申し送りと振り返りを行って職員間で情報共有をしています。また、毎日出勤していない職員にも情報共有ができるよう業務日誌や職員用回覧を使い閲覧できるようにしています。		今後も職員間で更に連携を深め、業務改善を積極的にしていきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	今年度は外部監査を実施しておりませんが、以前外部監査で提案していただいた事を元に業務改善に努めています。		以前の外部監査で指摘を受けた事を改善し今後も良い方向に改善されるよう意識して努めていきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	オンライン研修を年間を通して受けるように設定しています。随時職員間でオンライン研修を受け、全体ミーティングで研修の振り返りを行っています。		今後も職員のスキルアップの為に外部研修またはオンライン研修に積極的に参加できる機会を増やしていきます。
適切な支援の提	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	計画を立てる際に保護者様と面談をし、現状と今後の課題についてアセスメントを行っています。その内容をもとに個別支援計画を作成しています。なお今年度もコロナ感染防止の為、電話や書面にて聞き取りをさせてもらっているケースもあります。	はい…100% ・支援計画はしっかりと作成されていますし、送迎時に何かあればお話しできています。	引き続き定期的にあセスメントを丁寧に行い、利用児童、保護者様のニーズに合った個別支援計画を作成していきます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	アセスメントや個々のニーズに合わせて個別、集団活動の計画を検討し個別支援計画を作成しています。作成後は職員会議にて内容を共有し、支援計画に基づいて支援を行っています。	はい…100% ・子どもの課題をよく理解して計画を作成して下さっています。	引き続き、個々のニーズに合わせて個別、集団活動の計画を作成していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
供	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	個別支援計画は子どもや保護者のニーズに基づき、できるだけわかりやすい内容で目標を設定し、具体的な支援内容を記載するように心掛けています。	はい…100%	支援に必要な項目や支援内容は今後も分かりやすく目標を設定し具体的に記載するよう心がけます。
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別支援計画に基づいて支援を行い、職員間で話し合い共通理解を深め、その都度支援の内容を検討し合っています。	はい…100%	引き続き、適切な支援が行えるよう職員間で話し合い連携を深め共通理解に努めます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	活動内容やプログラムについては定期的な全体ミーティングで意見を出し合い検討したり決定したりしています。		今後も定期的なミーティングを行い意見交換をしていきます。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	土曜日は調理実習やダンス教室を行っています。長期休暇ではコロナ感染予防の観点から例年のような外出活動はできませんでした。できる限り、事業所内で楽しめるプログラムやイベントを工夫しています。		コロナ感染防止の為、様々な行事や地域のイベントが自粛されているので、スマイルの事業所の中では感染対策を十分に行い配慮しながら経験や体験を積み重ね、できることが増える喜びを味わえるよう実施していきます。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	手作りおやつや、リトミックなどの体を動かす粗大運動や、制作などの微細運動を週替わりで行い、活動プログラムに変化をつけ工夫しています。	はい…100% ・年齢に合った工夫をされていると感じる。 ・季節のイベントを取り入れて下さっているの子どもも楽しみにしています。	今後も活動プログラムが固定化しないように職員間で意見を出し合い、沢山の体験や経験ができるよう取り組んでいきます。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援前に職員でミーティングを行い、当日の利用児、プログラム、役割分担、連絡事項、送迎についての確認を行っています。		今後も引き続きミーティングを行い、支援内容や役割分担を把握し適切な支援を行っていきます。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後には一人ひとりについての振り返りをし、良かったことや注意すべきこと、今後の課題や支援方法の確認を行うミーティングを行っています。その日に出勤していない職員にも後日管理者が報告したり業務日誌を閲覧できるようにしたり、情報共有を心掛けています。		引き続き支援終了時のミーティングを行い、一人一人の振り返りや今後の課題などを要領よくまとめ情報共有し、次の支援につなげていくようにします。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	活動や課題への取り組みの様子の記録を行い、個別支援計画の検討・改善につなげています。個々の支援目標をすぐに把握できるよう提示し支援目標に沿って支援を行っているかも確認しています。		今後も継続し、支援の検討・改善に努めます。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的に保護者様にモニタリングを行い、その内容をもとに、職員会議で意見を出し合い支援計画の見直しをするようにしています。		今後も継続し取り組んでいきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	児童発達支援管理責任者が参加し、会議報告は職員会議、またはその日のミーティングで報告しています。	可能な限り参加し、情報共有や連携を図っていきます。またその内容を職員間で情報共有していきます。	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	保護者様から依頼があれば、園訪問を行い担任の先生や支援級の先生と連携をとるようにしています。また事業所に学校の担任の先生が訪問し情報共有をし連携を取り合うこともあります。今年度より保育所等訪問支援を開始しました。	今後も必要に応じて行い、各関係機関で情報共有ができる環境が更に整うことを望みます。	
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	現在対象の事例はありませんが、必要な時は当事業所での様子や支援方法などの情報の提供をしていきたいと思っています。	必要に応じて、行っていきます。	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	発達障害者支援センターのクローバーさんとはペアレントトレーニングを通して連携をとっています。専門機関での研修については、毎年職員が順に受講するように促進しています。	これからも、研修会等に積極的に参加します。	
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	保育園や幼稚園への交流は時間的に難しさがありますが、図書館や児童館のイベントなど地域の子ともさんと交流できる場を検討していきたいと思っています。なお今年度はコロナ感染予防の観点から外出活動を自粛しています。	はい…26% どちらともいえない…12% いいえ…10% わからない52% ・コロナ禍の状況下においては難しいと思います。 ・15時から利用しているので時間的にも保育所等との交流は難しいかなと思います。	可能な限り、交流機会の確保を検討いたします。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域の方を招待できる行事を行っていないのが現状です。今後は地域住民の方と交流できる場を考えていきたいと思っています。		できることから考えていきたいと思っています。まずは地域住民の方にご理解をいただけるよう努力していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	支援の内容については連絡ノートや送迎時にその日のプログラムと活動の様子を記載したり伝言したりして知らせています。利用者負担額等については、契約時に重要事項説明書を基に説明しています。	はい…100% ・丁寧に説明されています。	
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	来園時や送迎時に作成した支援計画を基に説明しています。緊急事態宣言やコロナウィルス感染が拡大していた時期は電話又は書面でのやり取りをさせて頂きました。	はい…100% ・毎回して頂いています。 ・説明されています。	現状を維持すると共に、更に丁寧な説明を心がけます。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	未就学児の保護者様を対象にペアレントトレーニングを開始し、今年度も引き続き実施しています。今年で3年目になります。	はい…67% どちらともいえない…7% いいえ…2% わからない…24% ・必要があれば参加できるよう案内して頂いています ・行けない曜日で残念でした。参加できるチャンス	来年度も毎年実施予定です。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡ノートや送迎時の引き渡し時に、その日の様子や課題について情報共有するようにしています。	はい…100% ・ノートに子どもの様子を書きアドバイスを頂いています。 ・毎回療育の様子もノートとお話してよく分かり助かっています。 ・連絡ノートとお迎えの時間にお話しして頂きよく分かって頂いています。	現状を維持し実施していきます。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	必要に応じて相談があった場合は、懇談の時間を設け、保護者様に寄り添い一緒に良い方法を考え、解決に向けてサポートさせていただいています。	はい…98% どちらともいえない…2% ・はい。安心して相談できています。 ・個別に話しを聞いて頂く時も助かっています。	現状を維持すると共に、更に保護者様に寄り添い連携を深めていきます。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	年に2回茶話会を企画していましたが、今の所実施はしていません。コロナも少しずつ収まってきているので今年度内の実施を検討しています。	はい…34% どちらともいえない…26% いいえ…7% わからない…33% ・コロナ禍で会合等を中止されているので評価できない。 ・保護者会という形ではないですが、参観日などで保護者同士でお話しをする機会がありました。	今後も茶話会等を実施し、保護者様同士連携できる場を増やしていきます。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情があった場合には原因、改善点等について職員間で話し合い、迅速に対応ができるようにしています。	はい…77% どちらともいえない…2% わからない…21% ・対応されていると思います。	現状を維持していきます。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	必要な場合には口頭だけでなく書面での伝達やお知らせを行っています。子どもとの意思疎通については必要に応じて視覚支援の対応をとっています。	はい…100% ・いつも丁寧な対応をして頂きありがとうございます。	現状を維持すると共に、更に丁寧な説明を心がけます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	月一回、園便りを配布し、行事予定や活動内容の説明、課題や目標、活動の内容がわかるよう写真等を記載しています。 また、ホームページ内でブログを掲載し支援内容の紹介をしています。	はい…93% わからない…7% ・毎月、丁寧なお便りと行事予定を配布してくれています。	今後も、HPやお便りの内容について検討し、取り組み等の発信ができるよう努力します。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	契約時に保護者様に個人情報同意書を書いて頂いています。個人情報については十分に注意して取り扱うように徹底しています。	はい…98% わからない…2% ・十分に注意されていると思います。	個人情報の取り扱いについては慎重に対応し、危機感を持って扱うと共にセキュリティ面の更なる強化を行います。
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルを作成し、マニュアルは職員がいつでも閲覧できるようにし、災害に向けての対応マニュアルをもとに研修も実施しました。保護者様にも災害時マニュアルを配布しています。	はい…88% どちらともいえない…5% わからない…7% ・説明されています。	緊急時対応マニュアルを作成し、保護者様に定期的に配布し周知いたします。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	月一回ずつ火災・地震・不審者侵入の避難訓練を行っています。	はい…93% わからない…7% ・行われています。	今後も引き続き実施していきます。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待についても研修があれば職員に研修のお知らせをするようにします。また、利用者さんの支援方法や対応の仕方などは気付いた時にミーティングなどで話し合い、職員間で検討・改善を心がけています。		更に意識を高めるように研修等で学ぶ機会を作ります。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	これまで身体拘束をするような事例はありませんが、今後そのような事例が出た場合は保護者様に同意を得た上で対応させていただきたいと思えます。		そのような事例が出た場合には、保護者様に十分に説明し同意を得た上で対応し書面等で記録を残します。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食物アレルギーの有無を契約時に保護者様から確認し、アレルギー発症時の症状や対応について詳しく聞き取りをしています。職員にも伝達し食物アレルギーのある利用児さんの一覧表を台所に提示しています。		今後も継続的に対応し、安全面に配慮し取り組みます。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットや事故報告はその都度、発生状況・経緯や原因、再発防止への取り組みを記入して報告書を作成し、職員間で共有・確認を行っています。また他事業所(はりま・加古川)とも共有し、事業所全体として再発防止に努めています。		更に意識を高め、改善に向けて努力していきます。